

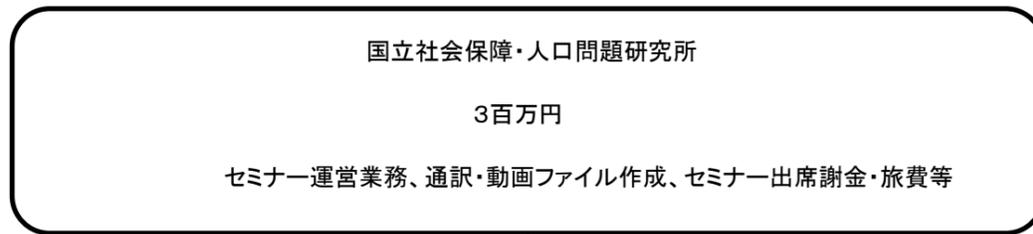
平成29年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	研究成果の普及等に要する経費			担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所			作成責任者	
事業開始年度	平成8年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			前原 正男	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保障・人口問題分野における研究の進展は著しいが、行政と学界との間で必ずしも十分かつ活発な交流が行われているとは言いがたい状況が見られ、また、各界内部においても、経済学、社会学、行政学等からの学際的なアプローチによって研究されてきた経緯から、十分な交流の場が確保されていない状況にある。本事業では、国立社会保障・人口問題研究所における研究成果を紹介し、関係機関等との交流を図り、社会保障及び人口問題研究の発展に資することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	厚生政策セミナーの開催及び研究成果の公表に関する事業等を実施している。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	4	3	3	3	3		
	執行額	4	5	3					
	執行率(%)	100%	167%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	167%	100%						
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	試験研究費	3	3						
	諸謝金	0	0						
	委員等旅費	0	0						
	計	3	3						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	研究所ホームページ(トップページ)に対する平成29年度のアクセス件数80万件以上	成果実績	アクセス	1,100,000	879,000	1,152,000	-		
		目標値	アクセス	800,000	800,000	800,000	-	800,000	
		達成度	%	138	110	144	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国立社会保障・人口問題研究所ネットワークシステム内におけるアクセスログ収集・表示システム								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
	厚生政策セミナーの開催(年1回)	活動実績	件	1	1	1			
		当初見込み	件	1	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	セミナー開催に要した経費/回数	単位当たりコスト	百万円	4	5	3	3		
		計算式	X/Y		4百万円/開催(1回)	5百万円/開催(1回)	3百万円/開催(1回)	3百万円/開催(1回)	

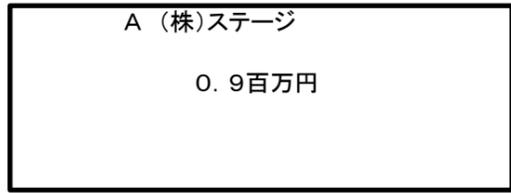
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	施策	XII-1-1 国立感染症研究所など国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること										
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度	
		国立社会保障・人口問題研究所における研究課題評価 (毎年度実施)※総合評価は5点満点で、3点「良好」の評価				実績値	点	4.2	4.2	4.3	-	
						目標値	点	3.5	3.5	3.5	-	3.5
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	厚生政策セミナーの開催及び研究成果の公表に関する事業等を実施する。 本事業により、国内外の一流の研究者を招き、広く学界及び行政担当者に門戸を開いて交流を図ったり、研究成果や事業内容等を公開することは、研究成果を広く社会に提供するという国立社会保障・人口問題研究所の目的の達成に資するもの。											
	改革項目	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
						成果実績	-	-	-	-	-	
目標値						-	-	-	-	-		
達成度	%					-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
					成果実績	-	-	-	-	-		
					目標値	-	-	-	-	-		
達成度					%	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
<b>事業所管部局による点検・改善</b>												
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	広く国民のニーズに配慮しつつ、人口問題及び厚生労働・社会保障施策に関連する制度横断的かつ国際的視点からのテーマを選択して実施しており、社会的意義があるものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	国の政策への関心に応える事業内容であることを踏まえ、国で実施すべき事業である。					
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	研究成果を広く社会に提供するという、研究所の目的を達成するために必要な事業であり、優先度は高い。					
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	契約金額が少額であっても見積合わせの実施により、競争性を確保している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	見積合わせにより競争性を確保しており、単位当たりのコスト水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	真に必要なものに限定されている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-					
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					○	セミナーのテーマ設定や会場選定など一般国民の参加を配慮している。また、研究所の研究成果の公表についても、ホームページを通じて一般国民に高い関心のある研究論文等を分かりやすく情報提供しており、効果的な手段である。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	活動実績は見込みに見合ったものである。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	セミナーのプログラムと報告資料は、ホームページ及び機関誌において公開しており、広く一般国民の関心に応えている。					

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は研究成果を広く社会に提供するという本研究所の目的に合致したものであり、厚生政策セミナーはその目的に沿って実施され、社会的な認知度も高い。執行面については、見積もり合わせを実施することにより競争性を確保しており適切に執行されていることから問題ないと考えている。			
	改善の方向性	会場の手配や付随する発注などの契約手続きについては、これまでも入札や見積合わせにより競争性を確保する等により適切に予算を執行し、事業の目標を達成したところであり、引き続き適正に事業を実施するところである。			
<b>外部有識者の所見</b>					
国立社会保障・人口問題研究所の事業であり、事業番号855と同様に当研究所の運営経費との役割分担を説明すべきである。但し、本事業は特定の活動に限定されているため、切り分けの説明は容易と思われる。引き続き、関連事業との役割分担を行いつつ適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
事業内容の一部改善の	社会保障及び人口問題研究の普及・発展に必要な事業である。運営経費との役割分担を明確にしつつ、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。なお、運営経費については、機関誌の発行を主な業務としているが、本事業は厚生政策セミナーの開催及び研究成果の公表に関する事業等を行っているものである。				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	618	平成23年度	559	平成24年度	496
平成25年度	878	平成26年度	878	平成27年度	888
平成28年度	857				

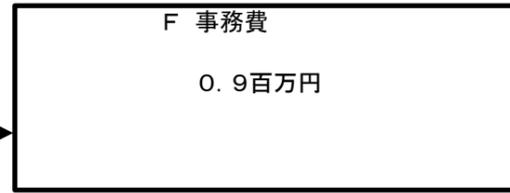
※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



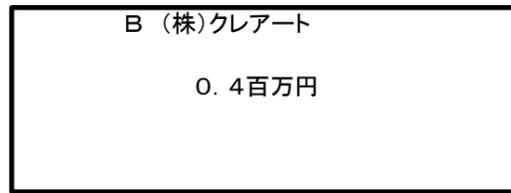
【随意契約(少額)】



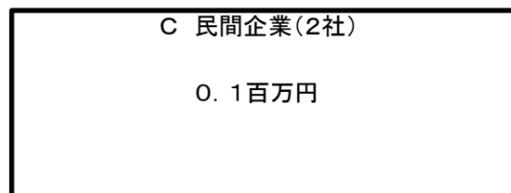
【その他】



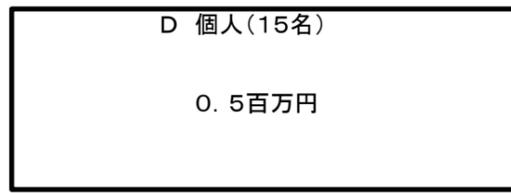
【随意契約(少額)】



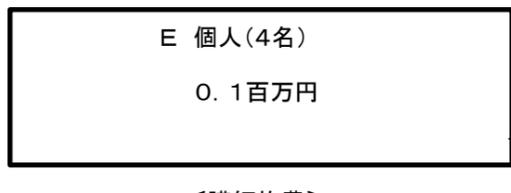
【随意契約(少額)】



【その他】



【その他】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	E.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

### 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ステージ	3013301015869	セミナー運営業務請負	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)クリアート	2013301015853	セミナー通訳・動画ファイル作成業務請負	0.4	随意契約 (少額)	-	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(福)日本盲人職能開発センター	1011105000981	速記業務請負	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
2	扶桑速記(株)	9010001027784	速記業務請負	0	随意契約 (少額)	-	100%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人O	-	講師謝金	0.1	その他	-	-	-
2	個人S	-	講師謝金	0.1	その他	-	-	-
3	個人K	-	講師謝金	0.1	その他	-	-	-
4	個人F	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
5	個人R	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
6	個人S	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
7	個人I	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
8	個人I	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
9	個人N	-	講師謝金	0	その他	-	-	-
10	個人T	-	講師謝金	0	その他	-	-	-

